

一般社団法人 栃木県作業療法士会
令和4年 理事会議事録（第4回）

開催日時:2022年10月14日(金)19:00～21:52

開催場所:宇都宮市茂原一丁目1021番地7(ZOOM配信)

出席理事:仲田、横山、谷口、坂田、山口、板倉、須藤、岩瀬、渡邊、和久井、松川、友利、有馬

全理事14名中、13名出席（全員ウェブ会議システムによる出席）

出席監事:なし（全員ウェブ会議システムによる出席）

欠席:黒淵、松崎、高村

順不同、敬称略

議案

会長挨拶

本日の理事会はウェブ会議システム(ZOOM)を利用して行う旨を述べ、双方が画像、音声を確認したところ異常がなく、出席理事数が定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げた。

I.報告事項

【会長】

- ① 第13回栃木県作業療法学会および第8回北関東信越ブロック学会について
学会長を渡邊清美氏（国際医療福祉大学）にお願いし、快諾いただいた
- ② OT協会 第四次5ヵ年戦略および2023年度重点活動項目について
資料配付（第2回47都道府県委員会配布資料）
・第四次作業療法5ヵ年戦略（2023-2027）『地域共生社会5ヵ年戦略』『組織力強化5ヵ年戦略』
- ③ 第3回47都道府県委員会（12/10）について
オブザーバー参加予定者：岩瀬理事・山口理事
- ④ 第1回倫理委員会（倫理体制整備WG）開催の件について
11月1日（火）19:00～ 開催予定
予定出席者：横山・友利・渡邊・須藤・松崎・仲田 敬称略
- ⑤ 三役会での決定事項の報告について
10月7日（金）三役会を実施
(1) OT協会の5ヵ年戦略および重点活動項目を意識した士会事業
(2) 2023年度から貸借対照表と損益計算書などを作成し、複式簿記へ移行する
→H28より、法人は複式簿記で財務管理をしなければならないと公表されているとのこと
→他の法人と足並みを揃え、HPで財務諸表を公開していく
(3) 組織図の改編

【副会長】

- ⑥ 栃木女子刑務所派遣事業について
2022年度上半期事業報告書の提出あり。

事務局

【会員管理部】

- ⑦ 会員管理および会費納入状況について（10月11日時点）
 - ・会員数：810名
 - 未入会：3名 協会員だが士会非加入者：15名 士会員だが協会非加入者：10名
 - 入会者：63名（新規53名、再入会10名） 退会者：9名 強制退会者：20名、内2名再入会
 - 会費納入：令和3年度分 2名（16,000円）
 - 令和4年度分 552名（4,416,000円）
 - 領収証：550名分発行
- ⑧ プライバシーポリシーについて：県士会HPに掲載済
- ⑨ 会員管理システム2台目について
8月中旬にパソコンを協会へ送付。システム導入を進めていたが、協会より以下の理由で作業を中断したとの連絡あり。
 - ・権限者権限のユーザーで必要なアプリケーションをインストールしようとするすとすべて中国語表記になる。
 - ・パソコン購入先のカスタマーサポートに上記の旨を連絡しようとしたが、電話番号がIP電話のためWeb上で確認したところ、電話できないと判断した。

- ・カスタマーサポートのメールアドレス、および特定商取引に基づく表記に記されているメールアドレスがどちらも、無料のメールアドレス(gmail.com および outlook.com)となっている。
- ・パソコン本体にメーカー名の記載、シリアル番号など、製品の情報が無い。
- ・ウイルスが仕掛けられている可能性を否定できないため、インターネットに繋いでの利用は危険性が高いと判断した。

⇒パソコンは協会より返却済。返品は不可だった。「協会員＝士会員」に向けた突合作業についてはまだ進展がないとのこと。2024 年からは Web 上で会員管理システムが使用可能になる方針との情報もあったため、パソコンの再購入については現在見合わせている。

購入したパソコンは今後事務所で保管し、学会・研修会やオンライン会議等の用途で使用する。

⑩ 休会制度について

休会制度の内容、定款の追加文言、休会時に必要な書類、制度開始までの流れについて準備が必要。
詳細は審議事項にて。

【財務部】

⑪ 上半期決算報告について

報告書は 10 月中旬に各部委員会より提出いただき確認する。

【地域リハビリテーション推進部】

⑫ 研修について

8/28：地域支援事業に資する人材育成研修（初任者コース） 参加者 15 名

講師 菊池芳夫氏（宇都宮市石井地区社会福祉協議会会長）

鈴木啓太氏（県北副ブロック長）

⑬ 会議について

8/22：第二回訪問リハビリテーション推進部門会議 部門長・副部門長・部員 8 名参加

9/21：第二回県北ブロック会議 副理事・ブロック長・副ブロック長・支部長・副支部長 10 名参加

9/28：第一回認知症ケア対策推進部門会議 副理事・部門長・副部門長・部員 6 名参加

⑭ 栃木県訪問リハビリテーションマップについて

栃木県リハビリテーション専門職協会訪問リハビリテーション部会にて作成した。

ホームページに掲載済み。

【教育部】

⑮ 研修会開催報告について

1) 現職者共通研修：「作業療法における協業・後輩育成」、「職業倫理」

日時：令和 4 年 9 月 25 日（日） 9：30～12：50

講師：「作業療法における協業・後輩育成」 高村直裕氏（国際医療福祉大学）

「職業倫理」 関優樹氏（国際医療福祉大学）

参加：「作業療法における協業・後輩育成」 28 名

「職業倫理」 29 名

⑯ 研修会開催予定について

1) 第 2 回現職者選択研修：身体障害領域

日時：令和 4 年 11 月 27 日（日） 9：20～16：30

講師：小賀野操氏（国際医療福祉大学）

河内朋恵氏（上都賀総合病院）

岩瀬直樹氏（新宇都宮リハビリテーション病院）

久米真菜美氏（尾形医院）

2) 令和 4 年度 第 1 回事例検討報告会

日時：令和 4 年 12 月 2 日（金） 19：00～20：30

3) 第 2 回臨床実習指導者講習会

日時：12 月 3 日（土）、4 日（日） 1 日目 9：20～18：50 2 日目 8：45～16：05

世話人：13 名

事務局：国際医療福祉大学（谷口氏、関森氏、野崎氏）

参加者：23 名

※申し込み締め切り：14 日 21 時

※協会への参加者名簿提出期限：10 月 22 日（土）まで

【学術部】

⑰ 研修会について

実施報告

1) 第 1 回老年期障害分野

日 時：令和 4 年 9 月 8 日（木）

テーマ：身障-老年期障害領域 領域横断研修会

作業療法士が提供できる・期待される心臓リハビリテーション～地域在住者への対応～

講師：水上美穂氏（さつきホームクリニック：慢性心不全看護認定看護師）

参加者：18名

2) 第1回全領域対象

日時：令和4年9月20日（火）

テーマ：えんがおを通して考える地域包括ケアシステム～作業療法士が地域でできること～

講師：濱野将行氏（一般社団法人えんがお：作業療法士）

有馬正人氏（曙訪問看護ステーション：作業療法士）

参加者：22名

※ZOOMと合わせてオンデマンド配信を予定

実施予定

1) 第2回身体障害分野

日時：令和4年10月31日（月）

テーマ：脳卒中片麻痺患者の電気刺激療法～当院での取組を交えて～

講師：横尾一徳氏（リハビリテーション翼の舎病院）

⑱ 報告事項について

昨年度の会計報告（精神障害分野）に漏れがあることが分かり財務部と調整中。

【事業部】

⑲ 10/21(金)～24(月)全国障害者スポーツ大会とちぎ大会・コンディショニンググループ運営について

・研修予定「マッサージ研修」ZOOM+対面ハイブリッド形式

日時：令和4年10月19日(水) 19:30～21:30

講師：染谷裕司氏（倉持整形外科）

場所：放課後等デイサービスちゃれんじ細谷教室

（〒320-0074 栃木県宇都宮市細谷町2-3-8-1 E棟 ルシール細谷）

※ZOOMの様子をYoutube 限定公開予定

（コンディショニンググループ従事者のみ URL 共有、10月末まで視聴可）

・競技担当者を通して、協力者へクオカードを配布する方向で準備中。

【福利厚生部】

⑳ 新入会員への記念品について

8月までに入会した新入会員50名分発送済み。（9/26 発送）

【災害リハビリテーション対策委員会】

㉑ 活動報告について

OT協会主催 2022年度災害発生を想定した訓練の実施が行われた。

士会員に向けて、9/25 安否確認メールの配信を実施した。今後結果を集約していく。

【とちぎリハビリテーションフォーラム準備委員会】

㉒ 会議開催報告について

実施日：令和4年9月26日（月）

内 容：第1回会議。テーマは「認知症」とする。特別講演とシンポジウム形式とし、講師は現在選定中。

第2回会議は10月24日（月）を予定。

委 員：岩瀬直樹氏（新宇都宮リハビリテーション病院）

久米真菜美氏（尾形医院）

渡邊真一氏（白澤病院）

細谷葉奈氏（白澤病院）

増子加恵氏（白澤病院）

大藤雅史氏（今市病院）

平野亜莉紗氏（だいなリハビリクリニック）

【第12回栃木県作業療法学会実行委員会】

㉓ 進捗報告について

今年度もオンライン形式での開催。学会申込期限：11月6日（日）

【研修会検討委員会】

㉔ 会議開催報告について

実施日：令和4年9月8日

内 容：研修会のオンデマンド配信について

今後の研修会等について

第3回会議 令和4年10月20日予定

【栃木県リハビリテーション専門職協会】

㉕ 専門職協会会費について

2023 年度分会費が決定した 486,000 円（士会員数 810 人×600 円）

②⑥ 理事会開催日について

第 4 回理事会 10 月 26 日予定

【記念誌作成準備委員会】

②⑦ 委員会活動終了の報告について

8 月 26 日に記念誌の発送を完了（発送先：会員所属施設、寄稿文依頼団体、歴代会長、関東の作業療法士会）
委員会活動費決算額：257,600 円（予算：220,000 円に対し、37,600 円の補正予算を計上した）

II. 審議事項

【会長】

① 会計システムについて

- ・複式簿記への移行とともに税理士との顧問契約を行っていく（財務に関する相談および外部監査が目的）
契約内容は以下の 2 点が考えられる
 - A. 県士会の財務業務を税理士に記帳代行をしてもらう
 - B. 県士会に適した会計システムを使って自計化（記帳指導）し、定期的に税理士によるチェック指導や助言、監査を受けながら決算書を作っていく
- ・県士会の財務について方針の明確化
 - (1) 財務部の負担軽減（特に年度末の出納帳と領収書の突合作業、収支計算書の作成）
＊各部・各委員会の会計担当の負担軽減は考えていない
 - (2) 使途不明金などを無くし、財務の正確性を向上させる（財務報告の信頼性を高める）
 - (3) 複式簿記で行うには、アナログな環境からデジタルな環境に変えねばならない。会計システム（パッケージ型やクラウド型のシステム）利用が必須である
 - (4) ガバナンスを向上させ、資産を保全する
 - (5) 自士会の「お金の動き」を理事は把握しながら、士会事業のマネジメントやコントロールを行う
⇒税理士との顧問契約、複式簿記の採用することは決定。

A 案・B 案の選定については今後継続審議

② 県士会組織図の改編について（別紙）

- ・次世代育成を見据えた理事および副会長の増員
- ・協会 5 ヶ年戦略に対応した部の設立
- ・学術強化
- ・広報強化
- ・各種委員会の整備
⇒承認

③ 次年度方針について

- (1) 新体制への移行とその安定した事業の運営
- (2) 財務の健全性と透明性に向けた会計システムの整備とその運用
- (3) 規程や基準の見直し・検討を行い、内部統制の整備とその運用
⇒承認

④ 次年度役員会議計画について

- ・定期総会 5 月 総会終了後に 1 時間程度の理事会（顔合わせ）
- ・理事会 年 6 回（4・総会後・6・9・12・3 月）
- ・三役会 年 3 回（8・10・2 月）
- ・基本的にはオンライン会議
- ・予算委員会 1 月（財務部主催）
⇒承認

事務局

【総務部】

⑤ 後援依頼に関して

第 35 回日本ハンドセラピィ学会学術集会より後援依頼あり。

⇒承認

⑥ ネット口座増設について

paypay 銀行で現在 20 口座運用しているが、全部署には口座が行き渡っていないため財務部の管理が煩雑化。
paypay 銀行の上限所有口座に達しているため、利用条件が似ている GMO あおぞらネット銀行で 20 口座開設を検討中。

⇒今後研修会検討委員会と検討、決定へ。

⑦ 下半期補正予算について

理事会費（予算 150,000 円）の補正予算として 200,000 円をお願いしたい。
→上半期で 110,360 円使用。会議時間が長くなっており、会議費が当初予算より超過。

⇒承認

⑧ 「協会の方針や最新の情勢を会員に伝える研修会」の開催について

協会教育部研修運営委員会連携研修班では東海北陸ブロック士会、富山県士会、東海北陸ブロック作業療法学会において会員対象に標記のモデル研修会を開催した。次年度の研修会開催準備にあたり、協会より各士会に開催希望のアンケートが届いた。アンケート締切日 10 月 31 日

⇒開催希望でアンケート提出とする

希望テーマ・共生社会構築に資する作業療法士の喫緊の課題（講師：協会三役）

- ・全世代型の組織づくりに向けて、協会と士会ができること（講師：協会事務局長 等）
- ・それぞれの地域ですべての人の活動・参加を支援する作業療法と教育システムの整備に向けて
- ・国内外で活躍できる作業療法士の育成と学術的取り組みの推進（講師：国際部、学術部関係者）

⑨ 事務員への業務依頼について

領収証発行業務 等が落ち着き、現状時間に余裕があるため、事務員に依頼したい業務について集約したい。
⇒年間の稼働状況を整理し、各理事に配信し依頼業務があるか集約していく。

【会員管理部】

⑩ 休会制度について

令和 5 年度から休会制度を導入する件について、以下のような流れを考えているがいかがか。

- ・第 4 回理事会（10 月）：休会制度概要、定款に追加する文言、必要書類、休会制度開始までの流れを呈示
- ・第 5 回理事会（12 月）：上記の内容を確定
- ・休会制度について、年内に県士会 HP・メーリングリストで会員へアナウンス
- ・令和 5 年 1 月 31 日までに、休会を希望する会員は休会届を事務所へ郵送（もしくはメール）
- ・令和 5 年 2～3 月の理事会にて、休会希望会員を呈示、承認→仮確定の形としておく
- ・令和 5 年度総会で休会制度が承認されれば同年より休会制度開始、希望者の休会を確定

⇒次年度総会以降の運用を開始する。詳細については継続審議し決定していく。

【財務部】

⑪ 補正予算について

記念誌作成準備委員会 37,440 円
教育部臨床実習指導者講習会 160,000 円
会長活動費 50,000 円
総務部 理事会費 200,000 円

⇒承認

【教育部】

⑫ 臨床実習指導者講習班下半期補正予算について

予算 446,300 円のところ、第 1 回開催で既に 241,467 円捻出。第 2 回開催に向けて 160,000 円の補正をお願いしたい。

⇒承認

【第 12 回栃木県作業療法学会実行委員会】

⑬ 実行委員の生涯教育制度基礎ポイント付与について

今年度から始まった会員への還元サービスにより、実行委員の学会参加費は免除としているが、基礎研修ポイントはどうしたらよいか。

⇒参加者としてポイント付与とする